

株式会社 GSユアサ

お問い合わせは 広報室

〒601-8520 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地

TEL. 075-312-1214 FAX. 075-316-3115 <http://www.gs-yuasa.com/gyp/jp>2011年11月30日
株式会社 GSユアサ

**GSユアサのリチウムイオン電池
民間企業初として導入された電気バスに採用！！
～ サントリー天然水南アルプス白州工場・白州蒸溜所にて運行～**

株式会社 GSユアサ(社長:依田 誠、本社:京都市南区)が製造・販売している産業用リチウムイオン電池モジュール「LIM50E-8」が、民間企業で初めて導入された電気バスに採用されました。

当社の「LIM50E-8」は、大型リチウムイオン電池のパイオニアとして長年培ってきたノウハウを結集して開発したリチウムイオン電池です。従来のリチウムイオン電池と比較して体積エネルギー密度を50%以上向上しており、電気バス以外にも無停電電源装置(UPS)や電力貯蔵装置など、大容量用途に適したリチウムイオン電池です。

この電池を採用した電気バスは、早稲田大学理工学術院・紙屋 雄史教授の監修のもと「短距離走行・高頻度充電」を最大の特長として開発されており、従来の電気バスの課題である電池の搭載容積や質量を大幅に削減しています。紙屋教授が取り組む電気バスの研究・開発は、以前にも環境省や経済産業省、NEDO等のモデル事業に指定されています。今回、サントリーは、工場見学のバスの運行状況や条件に適していることから、民間企業として初めて電気バス導入することを決定しました。10月29日(土)より山梨県にあるサントリー天然水南アルプス白州工場の見学ツアーでこのバスが活躍しています。

【「LIM50E-8」の特長】

1. 高エネルギー密度

当社従来品と比べて、体積エネルギー密度は50%以上、質量エネルギー密度は30%以上向上。

2. 電池の状態を常時監視する電池監視装置を標準装備

当社産業用リチウムイオン電池で実績のある電池監視装置を標準装備。全セル電圧およびモジュール温度を常時監視するほか、電池の情報を充電器やシステムに送信する機能を有する。

3. 多様な産業用途に適し、優れたコストパフォーマンスを提供

量産に適した電池構造とすることで、より一層のコストダウンを可能にし、多様な産業分野のお客様へ優れたコストパフォーマンスを提供。

【LIM50E - 8の仕様】

外形寸法(mm)	W:215×D:414×H:135	動作電圧範囲(V)	22.0～32.8
質量(kg)	17.5	最大放電電流(A)	300
公称電圧(V)	29.6	最大充電電流(A)	125(10～40)
1セルあたりの公称電圧(V)	3.7	使用温度範囲()	-10～45
容量*(Ah)	50	監視装置	全セル電圧監視 モジュール温度監視

*定格容量は47.5Ah

【バスの仕様】

電池搭載量	LIM50E - 8×24(12直列×2並列) 総電力量 35.5kWh
充電時間	約40分間
製造	ベース車体:日野自動車株式会社 EV改造:株式会社フラットフィールド
車種	日野自動車株式会社製「メルファ」
乗車定員	55人(運転席を含む)
車両寸法	全長 8.99メートル 幅 2.34メートル 高さ 3.035メートル

【写真】

1. 産業用リチウムイオン電池モジュール「LIM50E - 8」



2. サントリーが導入した電気バス(早稲田大学監修)

(サントリーホールディングス株式会社様 ご提供)



[この件に関するお客様からのお問い合わせ先]

株式会社 GSユアサ 産業電池電源事業部 新エネルギー本部

TEL 03 - 5402 - 5816

[この件に関する報道関係からのお問い合わせ先]

株式会社 GSユアサ 広報室

TEL 075 - 312 - 1214